

(新) 中央町 第1公園について



伊藤 一洋
議員

(新) 中央町第1公園については、設計、整備、管理運営に民間事業者のノウハウや資金を活用する、いわゆるPFIの導入を予定していることを伺っています。事業者の選定については、公募により、公園の設計、整備、管理運営の内容を提案いただき、民間事業者を選定すること、また、提案内容の評価基準については、事業の実施方針、施設の整備や管理運営、事業計画、価格審査などを予定しており、事業者選定委員会を設置し、この基準の検討を進めていることを理解しました。

○市長

(新) 中央町第1公園は現在、解体工事が進捗している

状況です。

民間事業者の公募については、PFI制度を活用するに当たり、本定例会において上程している、春日部市都市公園条例の一部改正についての可決をいただきましたら、速やかに進めていきたいと考えています。

また、公園の開設計画については、民間事業者の決定後、魅力ある公園となるよう、なるべく早期の開設計画に向けて事業を進捗させていきたいと考えています。

このほか

○職員の働き方について

入院医療費 未収金問題について



平沢 一博
議員

全国的に地域医療を担う公立病院は、人件費や診療材料費の高騰により、大変厳しい経営状況に置かれており、本市も例外ではありません。

診療報酬改定など、自助努力だけでは限界がある部分も多い中、入院医療費未収金問題は、取り組み次第で改善の

赤沼・銚子口地区 産業基盤整備事業について



会田 吉幸
議員

令和4年9月定例会で、赤沼・銚子口地区産業基盤整備事業について一般質問を行ってから、3年が経過しています。

しかしながら、県の予算もまだ付いておらず、現状では、事業の着手に至っていない状況です。

事業に早期着手し、完成させるための課題ですが、県企業局が産業団地を事業化するための条件として、

①全ての権利者から合意書を取得すること。

②農林協議をはじめとする関係機関との土地利用調整が整うこと。

③アクセス道路の整備が見込まれること。

の3つの課題があるとのこと答弁をいただきました。

この3つの課題解決は、優先順位があり、一つをクリアしていないと次のステップに進めないのでしょうか。

また、県の事業化を早期に実現するために、今後の市の手続きについて、お伺いします。

○都市整備部長

企業局における事業化については、農林調整をはじめとする関係機関などとの土地利用調整が整うことや、全ての権利者から土地の譲渡に関する合意書を取得することが要件とされています。

この要件に、優先順位はなく、いずれも時間を要することから、今後も並行して取り組んでいきたいと考えています。



赤沼産業団地予定区域

岩谷市長に4年間の 取り組みについて問う



榛野 博
議員



選挙時、岩谷市長は当時の財政の脆弱さを指摘し、当選されました。現在、本市の財政力指数は基準値1を大きく下回り、0・6にもなりそうな状況です。今のほうが危険と考えますが、以下伺います。

①自主財源の確保を第2次総合振興計画で示しているが、何年計画で財政の立て直しを目指していくのか伺います。

②2期目を目指す岩谷市長の春日部市政に市民も関心が高いと思います。改めて幅広い世代に分かりやすいように2期目のビジョン、春日部の未来像をどのように考えているのか伺います。

続き、ふるさと納税制度などにより、自主財源の確保に努め、持続可能な財政運営を進めていきます。

①現在の社会経済状況は、不透明な要素も多く、今後国の政策動向も目まぐるしく変化する可能性があります。財政について、年度を示した計画を策定するには難しい状況にあると考えていますが、引き

春日部市の上下水道管 調査について



河井 美久
議員



本市に限らず、上下水道管をはじめとするインフラ施設の老朽化については、多くの自治体で課題になっていると思われれます。

令和7年4月に京都市において、国道に埋設されていた水道管が漏水し、国道が一時通行できなくなるだけでなく、自動車や周辺住居にまで被害が及ぶ事故がありました。

ひとたび上下水道管で事故が起きると、市民生活への影響も非常に大きく、大規模な事故においては、復旧までに長期間を要するため、日々の予防も含めた対応が求められます。そこで、上下水道施設に対する日常の点検などについて伺います。

○上下水道部長

市民からの通報には、24時間365日対応できるよう、管理体制を整えています。上水道施設においては、業務委託による漏水調査を毎年

度実施しており、建設部で実施する路面下空洞調査の結果とあわせて、漏水箇所を早期発見に努めています。

下水道の管路施設については、県管理の流域下水道へ接続する汚水幹線を中心に、マンホールから管の中を確認することにより、老朽化の状態を把握し、優先的に更新を行う路線を抽出するためのスクリーニング調査を行います。

この結果、より詳細な調査が必要とされた路線においては、内部の状態を把握するためのTVカメラ調査を実施しています。

外国人住民と共に歩む 武里団地の未来について



藤原 智子
議員



本市の外国人住民は増加傾向です。特に武里団地はその割合が高くなっています。

外国人住民については、マインズの側面が強調されがちですが、多くの外国人住民の方は地域の一員として子育てをし、仕事をし、私たちと同じように日々を生きています。

外国人と日本人が互いに理解と協力の輪を広げて共生社会を築いていくことが地域の未来にとって大切です。それは住民一人一人の意識と行動によって育まれていくものと考えます。

行政がその土壌を豊かにするために、自治会学校、NPOなど地域団体と連携して進めるべきと考えますが、市長の考えをお伺いします。

○市長

かすかべ未来研究所において、武里団地における課題について研究を進めており、武里団地支え合い会議など団体の皆さまと連携しながら課題の把握に努めているところです。その中でも外国人住民との共生は大変重要なテーマであると捉えているところです。日本人と外国人が安心して過ごし、またいざというときに助け合える共生社会の実現に向け、武里団地の設置者であるUR都市機構、自治会をはじめとする地域団体の皆さまと共に、この課題に取り組んでいきたいと考えています。

このほか

○市民の暮らしを脅かすアライグマ対策の強化について
○学校図書館の充実について

お金の未来を
語ってください
～中長期財政計画の必要性～



山口 剛一
議員

市議会議員として、責任ある予算審議のためには、中長期財政計画が不可欠と考えます。

国も作成を推奨しています。令和6年3月議会で財務部長は「中期財政計画の作成は必要で、研究する」と答弁しましたが、同年9月議会では一転、「社会情勢が激しく、信頼性の高い計画が作成できないため提示しない」と真逆の答弁に変更されました。これは執行部の覚悟と一貫性の欠如だと感じます。

そこで、以下伺います。

①中長期財政計画を「作成・提示しない」と判断されたのは市長ご自身でしょうか。
②5カ月後に真逆の答弁に変更した理由と経緯について、市長の考えをお聞かせください。

○市長

①中期財政計画や収支見通しについては、財政課において

作成方法や形式などの検討を行った結果、歳入歳出ともに不透明な要素が多く見込まれ、収支の根拠を説明できるきちんとした長期、中期の計画や収支見通しを対外的に示すことは難しいとの報告を受け、承認したものです。

②現況下では将来を予測することが困難であり、かえって誤解を生む恐れがあります。行政は計画主義が基本と考えますが、柔軟性と機動力を持った対応も重要と考えます。

そのため、責任ある中長期的な計画や見通しを示すことは難しい状況と考えています。

豊野地区のまちづくり
銚子口橋について



鈴木 一利
議員



銚子口橋の架橋への始まりは豊野村が春日部市と合併する際の約束が発端でした。紆余曲折、さまざまな経緯がありましたがいまだ実現されていません。銚子口橋は大落古利根川の豊野地区と越谷市平方地区を結ぶ、橋長約100メートルの橋りようになりま

す。そこで、越谷市との銚子口橋架橋に向けての協議の進め方についての見解を伺います。また、①赤沼・銚子口地区産業基盤整備事業とともに銚子口橋架橋についての見解。②これからの豊野地区の将来像について、市長に伺います。

○建設部長

今後は、継続的に協議の場を設け、両市の関連する事業の進捗状況を常に確認しながら、これまで以上に協議を進めていきたいと考えています。

○市長

①東埼玉道路や産業団地などの豊野地区のまちづくりの動向や越谷市との連携を図りながら、今後の方向性を判断していきたいと考えています。

②東埼玉道路の開通により、国道4号バイパスの渋滞緩和や交通アクセスの向上が期待されています。また、赤沼・銚子口地区の産業団地整備により、新たな雇用の創出や財政基盤の強化が図られるなど、大きなポテンシャルを持つ地区と考えているところです。

このほか

○小中学校体育館のエアコン使用について

○児童館をもっと楽しめる施設に

今定例会傍聴状況

月日	傍聴者数	主な日程
8/25	2	上程・説明
9/1	1	質 疑
2	2	質 疑
3	6	質 疑
4	1	質 疑
8	3	委 員 会
9	6	委 員 会
11	26	一 般 質 問
12	16	一 般 質 問
17	18	一 般 質 問
19	22	一 般 質 問
22	20	一 般 質 問
25	3	討 論・採 決
合計	126	

傍聴して一言

大変勉強になりました。質問が議員目線の間接的な感じがする。もう少し市民目線で質問してもらえたらありがたいと思います。

女性・76歳

プレイパークに対する市の基本的な考え方について知りたくて来ましたが、傍聴は初めてだったので、市政が身近に感じられ、いい機会となりました。

女性・42歳

とても身近な問題・施策課題（医療・交通など）について、普段見えてこない細かな部分が明確になり、納得するに至りました。

市長、議員各位、執行部の皆さま、今後とも市民に寄り添って行政をお願いします。また勉強にきます。ありがとうございます。

女性・55歳

冷房の設定温度が低いように思いました。午後からの傍聴でしたので、眠気対策にはいい効果があったのかもしれない。

受付の方が親切に対応してくれました。議会はスムーズに行われていました。

健康に関する質問はまさに高齢者が多数いる春日部市に重要な内容でした。

市立医療センターの役割を今一度見直してもらいたいと思います。

特に、休日・夜間診療については、受け入れの強化を強く望みます。

女性・65歳

※割愛させていただいた部分もあります。

避難所開設 訓練の実施

令和7年9月24日に避難所開設訓練を実施し、25名の議員が参加しました。

地震などの災害が発生した際、各議員が災害対策本部からの情報を収集しながら各地域に入り、避難所などの状況把握を行うことを想定し、危機管理防災課職員を講師に招いて避難所の開設や運営訓練を行いました。

詳しい内容は
こちらから



閉会中の委員会活動

▽議会運営委員会

8月20日

令和7年9月定例会の運営について

▽議会改革検討特別委員会

7月1日

デジタル化とペーパーレス化について

議会報告会について

議員研修会の開催について

議会基本条例に関するルール集について

8月7日

デジタル化とペーパーレス化について

議会報告会について

議会基本条例に関するルール集について

議会費の予算について

▽広報広聴委員会

9月26日

議会だより第81号について

議会だよりのレイアウト変更について

10月3日

議会だより第81号について

議会だよりのレイアウト変更について

▽図書室運営委員会

10月3日

図書購入の申し込みについて

市議会より埼玉県議会へ 要望書を提出しました

中心市街地まちづくり検討特別委員会および地域拠点整備検討特別委員会において協議を行い、令和8年度埼玉県予算に、本市の要望を反映させていただくよう、10月14日に議長、副議長および中心市街地まちづくり検討特別委員長、地域拠点整備検討特別委員長、副委員長の4名で県議会へ要望書を提出しました。

詳しい内容は
こちらから



編集後記

議会だよりの編集に関わる中、毎号の作業を通じて、議会での議論をどのように市民の皆さまに分かりやすくお伝えできるかを改めて考える機会をいただいています。

今号でお伝えした9月定例会では、令和6年度決算の認定も行われました。

市民の皆さまからお預かりした大切な税金がどのように使われたのかを丁寧に審査し、適正かつ効果的な執行であったかを確認しました。市政をチエックすることは議会の大切な役割の一つです。議会だよりは、そうした議会の動きを少しでも身近に感じていただけるよう、市民の皆さまへの橋渡しとなることを目指しています。

市民の皆さまから寄せられるご意見やご要望は、私たちにとって重要です。

市民の皆さまに親しまれ、読んでもらえる「かすかべ議会だより」の紙面づくりを心がけ、市民の皆さまの声を大切にしながら、議員一同、より良いまちづくりに力を尽くしてまいります。

市議会ホームページのご案内

市議会のホームページでは、議員名簿、会議日程、会議録、本会議の録画中継映像などをご覧いただけます。

また、スマートフォンなどにも対応しておりますので、ぜひご覧ください。



広報広聴委員会

委員長	会田 吉幸
副委員長	木下三枝子
委員	山口 剛一
委員	平沢 一博
委員	伊藤 一洋
委員	中村 貴彰
委員	藤原 智子
委員	大里 昇
オブザーバー	
議長	小久保博史
副議長	石川 友和

〒344-8577

埼玉県春日部市中央七丁目2番地1

春日部市議会

TEL 048-796-8395